

いつまでも、おいしく

召し上がっていただくために

嚥下障がい

最近「嚥下障がい」という言葉を耳にされる機会がおりかと思えます。食べるという概念の中で、「飲み込み」の際の様々な支障を指して使われる言葉です。

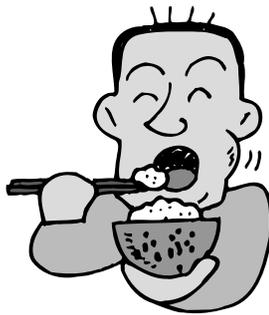
なぜムセるの？

食べるという一連の行為は、最初の段階としての食べ物の認知から始まります。その後、口に取り込み咀嚼すること、飲み込みやすい食塊を作り、ゴックンと飲み込んでいきます。

この時に、食物の一部が気管へ入ってしまう、激しいムセが起ることを誤嚥と言います。誤嚥を繰り返すうちに、気道粘膜の感受性が低下し、発熱や体のだるさ等の症状を感じられるかもしれません。特に、お茶や汁物でムセやすくなる場合があります。

飲み込みについての質問事項

- ① 半年前に比べて、固いものが食べにくくなりましたか？
- ② お茶や汁物で、むせることがありますか？
- ③ 物が飲み込みにくいと感じることがありますか？
- ④ 口から食べ物のごぼれることがありますか？
- ⑤ 口の中に食べ物が残ることがありますか？
- ⑥ 食べるのが遅くなりましたか？



⑦ のどがゴロゴロ（痰がからんだような感じ）することがありますか？

- ⑧ 夜、咳が出て目が覚めることがありますか？
- ⑨ 口の渇きが気になりますか？
- ⑩ 声がかすれてきましたか？



お気軽にご相談ください

食事中にむせたり、風邪でもないのに咳が出たり、声がやや出にくかったりと、「飲み込みについての質問事項」に当てはまることがあれば、もしかすると「食べる機能」が弱っておられるのかもしれない。

ほんの少しの運動や工夫で、改善することができます。お気軽にご相談ください。

お問い合わせ先

西伯病院 言語聴覚室 TEL 66-2211

■ 受付時間 /
月～金曜日（祝祭日除く）の8:30～17:00



言語聴覚士

まんどころ すみ
政所 寿美

西伯病院人事異動
12月31日付

退職

◆ 金山 智江 (看護師)
荊尾 陽子 (理学療法士)